

活動名：エストレージャス交流戦 U-12

日程：平成27年11月29日（日）

会場：郡山市西部スポーツ広場

参加：5年生選抜（喜多方参加選手以外）16名

帯同：設楽コーチ

対戦相手：

VS エストレージャス ●

VS 守山 ●

VS 城北 ●

VS 中央ドリマ ●

報告：設楽コーチ

今年度、全日本少年サッカー大会の全国大会に福島県代表として出場する「エストレージャス」さんのご招待を受け7チームによる大会に参加しました。

6年生以下の大会でしたが、五年生は試合が少ない年代なので、この大会に参加しましたが、五年生は12月に喜多方の大会もあるため、二つに分かれ、五年生のリフティング記録回数（10月記録）を基準に喜多方大会に参加しないメンバーで挑みました。

4試合でしたが、参加人数が16名と多かったこともあり、前半、後半にグループ分けをして、実質一人2試合出場する経験の場となりました。

さて、試合内容ですが、大会の出場経験が少ないメンバーが多かったため、試合中の戦術的なことはあまり言わず、個々に考えプレーする「決まりごと」を以下のように伝えました。

- ・自陣では中央にボールを入れないで、外にカットする、外に向かってボールを運ぶこと。（相手に渡ると危険であるエリアなのですぐにシュートされる危険。）
- ・相手コートではゴールに向かってボールを運ぶこと。シュートができれば狙うこと。
- ・失点（得点も含む）を気にせずに、個々に全力でプレーすること。

沢山の決まりごとは覚えられないため、上記の三つのことを頭に入れてプレーするように伝えましたが、内容は・・・。

試合になると忘れてしまっている選手が多く、自陣では中央に向かってボールを蹴る、相手に向かって「ただ蹴り」してしまう・・・場面が見られ、残念ながらすべて大量失点のゲームでした。

チームみんなが同じ気持ちで、そして同じ「決まりごと」を守ってプレーしないといけないこと。考えながらプレーしないといけないこと、自分一人のミス、いい加減なプレーからチームみんなに迷惑をかけてしまうことなどを話し、サッカーはとても頭を使

うスポーツであることを伝えました。

中には、頑張って日々の練習の成果を確認しながらチャレンジしていた選手もいましたが、このような試合では、今まで自分が練習してきたことを出し切り、試合後には何が足りなかったのかを感じ、またその足りないものを練習していく、繰り返し、繰り返し、練習をし、どうしたら上手くなるのか？どうしたら思うようにプレーができるのか？をたくさん考えることができる機会です。

サッカーノートを作ってコーチに言われたことを書き留めることも伝えましたが、実行している選手はいるのかな・・・？

今回はリフティング記録回数が低い選手たちでしたので、やはりボールコントロールができていない子がほとんどでした。

ボールをコントロールする技術は、個々のリフティング回数を多くしていく練習が一番です。これはアーレの宿題の一つですが、五年生になるとこの努力の度合いで技術に大きな差ができてしまう年代に入ってきました。この個々に努力する練習は、負けないう気持ちをもって、あきらめないで頑張してほしいですね。

土日の90分間の練習では、なかなか技術向上はできません。

昔のように日々たくさん練習する時間は現代の子どもたちには少ない現状です。しかし、学校、宿題、他の習い事、ゲーム？などの時間の合間に少しでもサッカーボールに触ることを意識してほしいですね。

やればできる子どもたちばかりです。

来年は最上級生！個々に目標をもって頑張り、残り1年ちょっとですが、アーレでの活動をそして楽しんでいきましょう！

最後に、エストレージャスさん、ご招待いただきありがとうございました。また、お子様の応援に寒い中お越しいただいた保護者の皆様、こどもたちへの応援をありがとうございました。そして、参加対象でなかった五年生の選手たちも自分が出ないのに会場に来て応援してくれました。仲間意識があり嬉しかったです。

コーチ：設楽



